

関係者各位

今あらためて知りたい、琉球の誇り首里城
おうちばら
御内原エリア等開園！プレオープン実施

～いままで見るができなかった、より奥深い首里城をご案内！～

首里城公園は、平成 4 年に復元公開された正殿を始め、順次公開エリアを広げていましたが、平成 31 年 2 月 1 日より、新たに御内原(おうちばら)などの首里城「奥」の世界がついに開園します！

それに先駆け、平成 31 年 1 月 28 日～31 日までの 4 日間、新規エリアの有料区域を無料開放いたします。イベント等も予定しておりますので、決まり次第ホームページ等でお知らせいたします。

この機会にぜひ首里城にお越しいただき、奥深い沖縄の歴史を感じてみてはいかがでしょうか。
首里城公園スタッフ一同、心よりお待ちしております。



正殿裏側
御内原エリア等

【首里城公園 御内原エリア等開園 プレオープン】

日 時：平成 31 年 1 月 28 日(月)～1 月 31 日(木)

しゆくじゆんもん
入場口：淑順門より無料開放

※正殿などは通常どおり有料となっております。

取材にお越しいただける際には、事前にご連絡をいただけますと幸いです。

<お問い合わせ> 首里城公園管理部 事業課 業務広報企画係

TEL 098-886-2020 / FAX 098-886-2022

琉球を司る三つの空間とは

琉球王国の政治、外交、文化の中心として威容を誇った首里城。その役割から、大きく3つの空間が存在することをご存知ですか。

政治・行政を司る①行政空間、聖地として崇められた京の内の②祭祀空間、国王とその家族、女官が住んだ「御内原」と呼ばれる③生活・儀礼空間です。今回、「御内原」の開園により、これまで立ち入ることが出来なかった③生活・儀礼空間へ皆様を誘います。



このエリアが新たに開園！
 いままで見ることの出来なかつた、より奥深い首里城をご案内します！

首里城3つの空間

御内原(おうちばら)とは

正殿の東側一帯は「御内原」と呼ばれ、国王とその親族、そこに仕える多くの女性が暮らす男子禁制の場でした。正殿を境に、西側が政治や外交を中心とした「表」の世界であったのに対し、ここは女性がすべて取り仕切るいわば「奥」の世界だったのです。本エリアには、城郭の東側に築かれた場内で最も高い物見台「東のアザナ」があり、首里や那覇の街のみならず東シナ海を望むことができます。天気の良い日には東は久高島、西は慶良間諸島を見渡すことができます。ぜひ美しい風景もご堪能ください。国王や女官たちの生活を紐解く、御内原。より奥深い首里城を深訪してみませんか。

【施設紹介】



淑順門(しゆくじゆんもん)



女官居室(によかんきよしつ)



世誇殿(よほりでん)



二階御殿(にいけうどうん)



白銀門(はくぎんもん)



寝廟殿(しんびょうでん)



東(あがり)のアザナからの眺め



美福門(びふくもん)



継世門(けいせいもん)